

戦争準備NO!! 日本政府は禁止条約の署名・批准を 5月26日(金)日高川町庁舎前集会・2023年原水爆禁止国民平和行進



国民平和行進は、5月26日(金)日高川町へ入りました。日高川町では、山本善平町議と県事務局で町長室を表敬訪問。久留米啓史町長と短時間に懇談できました。事前に、原孝文町議が久留米啓史町長と龍田安廣議長より、協賛金とペナントを受け取っています。また、窓口においてある被爆者募金箱も、今年の募金箱へと交換しました。

庁舎前出発集会が始まります。進行は日高教職員組合の山本周子さんです。最初、県実行委員会より、庁舎前で集まり、平和行進で町民への核兵器廃絶のアピールできる事の喜びを報告しました。久留米啓史町長は、「ロシアがウクライナに戦争を仕掛け、大変な状況になっています。その中で核兵器の威嚇の報道もなされています。とんでもない話だと思っています。この様な中で、平和行進は大変意義深いものであります。」と激励のは挨拶を頂きました。山本善平町議は「先日G7で発表された広島ビジョン、大変憤慨しています。核兵器廃絶は究極のかなた。ロシアがウクライナを侵略している。核で威嚇する。それに対抗する為に、自衛の為に核兵器は認められる。被爆国、日本の首相が、議長として発言するビジョンとしては、本当に情けない。核兵器は廃絶すべき。これが被爆国日本の総理大臣が示すべき声明です。核兵器禁止条約に全ての国が参加するその日までこの平和行進を続け、世界から核兵器がなくなるように訴えていきましょう」と連帯の挨拶をされました。わかやま市民生協・栗田仁美さんも決意表明をします。そして、日高教職員組合大成中学分会の越本三美奈子さんが日高川町集会アピールを読み上げます。参加は24名でした。平和行進は、庁舎前を東に回り、県道26号線に出、今度は西に向いてJA日高川支店まで歩き、Uターンして、町庁舎まで帰るコースを歩きました。